

栗駒山（くりこまやま）

栗駒国定公園の主峰栗駒山は、岩手県では須川岳とも呼ばれ、標高1,626m。秋田では大日岳、宮城では駒ヶ岳とも呼ばれている。各県から登山コースが通っており、岩手県側は須川温泉登山口から登る。5月中旬の山開きには残雪を踏みしめての登山、6～7月は可憐な高山植物、9月下旬から10月中旬までは山が燃えるかのような紅葉を楽しむことができる。山頂までは、須川温泉登山口から約2時間半。ゆっくりと登っても3時間半程度。



須川岳秘水「ぶなの恵み」
[NPO法人須川の自然を考える会]によって国道342号沿い(真湯ゲートから3.2km)に整備された湧水。豊かな生態系に恵まれ、良好な水質、豊富な水量を誇っています。岩手宮城内陸地震復興の碑も隣接。



須川ビジターセンター
登山口付近の須川ビジターセンターでは、栗駒国定公園について視聴覚できる。(月曜 休館)



栗駒山登山の登山口は
須川高原温泉にあります

栗駒山（須川岳、標高 1,626m）の中腹、およそ八合目に位置。春は残雪と新緑、夏は高山植物、秋は紅葉が美しい栗駒山の登山基地としても最適です。湧出量毎分 6,000ℓ、源泉かけ流しの温泉宿です。また、古くから湯治宿として親しまれており、長期滞在に適した自炊棟もあります。

□特徴：硫酸を主成分とした強酸性（酸性含硫黄硫酸塩泉）

□効能：慢性消化器疾患、リウマチ、性疾患、慢性中毒症、糖尿病、皮膚掻痒症、運動障害、動脈硬化症

お問い合わせは須川高原温泉（冬季間休業） TEL.0191-23-9337 FAX.0191-23-2550

栗駒山の高山植物

花めぐり

イワナシ

ショウジョウハカマ

シラネアオイ

イワウメ

イワカガミ

オノエラン

コケモモ

コバイケイソウ

タテマリンドウ

ヒナザクラ

ミネズオウ

イワイチョウ

イワヒゲ

オオバキスミレ

マルバシモツゲ

ミツシロ

イワショウブ

キンコウカ

タチキボウシ

ハクサンシャジン

【 注 意 事 項 】

- 登山者カード（名簿）に記入し、須川ビジターセンター入口の登山箱に入れてから登山してください。
- ラジオや携帯電話などを携行し、随時情報等を収集するようにしてください。
- 登山道以外の立ち入りは禁止です。
- 地震や地鳴り、鳴動からの異常を感じた時は、慌てず速やかに下山してください。
- 火山活動に異常が発生した場合は、入山者に対しヘリコプターやラジオなどで下山を呼びかけますので、その際は直ちに下山してください。
- 須川ビジターセンターと策森避難小屋にヘルメットを準備しています。緊急時などに使用してください。

栗駒山高山植物カレンダー		時期	5月	6月	7月	8月	9月
植物							
イワナシ							
ガンコウラン							
コミヤマカタバミ							
コヨウラクツツジ							
ショウジョウバカマ							
シラネアオイ							
シロヤシオ							
タムシバ							
ツバメオモト							
ノウゴウイチゴ							
ヒメイチゲ							
ミズバショウ							
ミネザクラ							
ミネヤナギ							
ミヤマスミレ							
ムシカリ							
ムラサキヤシオツツジ							
イワウメ							
イワカガミ							
イワハゼ							
オオバスノキ							
オノエラン							
ギンリョウソウ							
クロウソゴ							
コケモモ							
ゴゼンタチバナ							
コバイケイソウ							
コメバツガザクラ							
サギスゲ							
サラサドウダン							
サンカヨウ							
シラタマノキ							
ズダヤクシュ							
タテヤマリンドウ							
チングルマ							
ツマトリソウ							
ツリガネツツジ							
ハイマツ							
ハクサンチドリ							
ヒナザクラ							
マイヅルソウ							
ミツバオウレン							
ミネズオウ							
ミヤマハンノキ							
ヤマタヌキラン							
ワタスゲ							
アオノツガザクラ							
イワイチョウ							
イワヒゲ							
オオバキスミレ							
サワラン							
ツルコケモモ							
トクソウ							
ナナカマド							
ハクサンシャクナゲ							
マルバシモツゲ							
ミツガシワ							
ミヤマツボスミレ							
イワオギリ							
イワショウブ							
ウメバチソウ							
キンコウカ							
クガイソウ							
コメツツジ							
シロバナトウチソウ							
タカネツリガネニンジン							
タチギボウシ							
チョウジギク							
ナガバノツガザクラ							
ネバリノギラン							
ミヤマアキノキリンソウ							
ミヤマコウブリナ							
ミヤマホツツジ							
ムシトリスミレ							
モウセンゴケ							
モミジカラマツ							
アカミノイヌツゲ							
エゾオヤマリンドウ							
エゾシオガマ							
ナンブタカネアザミ							
ハクサンシャジン							

栗駒山登山MAP

産沼コース
須川高原温泉から
山頂まで

岩手県 一関市

栗駒山までのアクセス

バス

一ノ関駅 約1時間30分 須川温泉

岩手県交通一関営業所 TEL.0191-23-4250
※時期により運行時間が異なります。ご確認ください。

タクシー＆レンタカー

一ノ関駅 約1時間10分 須川温泉

なのはな観光タクシー TEL.0191-23-1111
一関平泉タクシー TEL.0191-23-2222
県南タクシー TEL.0191-26-5555
一関中央交通 TEL.0191-31-3333
アイタクシー TEL.0191-25-6666
JR東日本レンタリース一関 TEL.0191-21-5570
トヨタレンタリース一関店 TEL.0191-23-0100
トヨタレンタリース一関駅前店 TEL.0191-21-2100
オリックスレンタカー一関駅前店 TEL.0191-48-5243
ニッポンレンタカー一関 TEL.0191-21-3250
Jネットレンタカー一関駅前店 TEL.0191-48-4002
タイムズカー一関駅前店 TEL.0191-26-0828
日産レンタカー一関店 TEL.0191-31-4123

栗駒山に
関しての
お問い合わせは

☐(-社) 一関市観光協会（駅案内所）
一関市駅前1 TEL.0191-23-2350 FAX.0191-23-0066

☐一関市商工労働部観光物産課
一関市竹山町7-2 TEL.0191-21-8413 FAX.0191-31-3037

https://www.ichitabi.jp/ いち旅

検索

登山時期

最適

適

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

コンディション

花

紅葉

冬山

残雪

新緑

夏山

高山植物

秋山

冬山

須川登山のアドバイス

産沼コースは整備によりとても歩きやすいコースです。栗駒山は子どもからご年配まで幅広い年代の方が登る山ですが、名残ヶ原より先は山歩きに適した靴や服装で歩くようにしましょう。

コースとしては沢渡りが二か所ある所がポイント。雪解けや雨により増水している場合があるため登山前にビジターセンターで情報をチェック。渡る際は絶対に無理をしないようにしてください。

四苦八苦坂や山伏稜線などの急な坂は、こまめに休憩をとってゆっくり登れば初心者でも登り切ることができます。高山植物や雄大な自然を眺めながらゆっくり登れるのも魅力のひとつです。

おすすりビューポイント

産沼コースは自然観察路と呼ばれるように高山植物が豊かです。名残ヶ原や苔花台は6月下旬からワスレ、7月中旬からキンコウカが群生し見事な景色です。

秋の紅葉は9月20日過ぎから山頂より始まり10月中旬まで楽しめます。山頂より南側は一面真っ赤に、北側はカラフルな色彩になります。自然の変化を楽しみながら登ってみてください。

山頂付近や天狗平では北側眼下に昭和湖や須川高原温泉を、晴れた日には月山、蔵王連峰、鳥海山などを眺望できます。山頂から少し足を延ばして歩くのもおすすめです。

須川登山のアドバイス

NPO 法人須川の自然を考える会1さん

【凡例】

①～⑥ コースポイント

⑦～⑪ おすすめコース

須川コース

産沼コース・経験者向け

体力と時間のある人向けコース

その他のコース

花群生地

山頂

トイレ

無人小屋

無料駐車場

バス停

キャンプ場

県境

FM あすも (79.5MHz)

携帯電話

電波確認地点

天候や季節によって変化するので注意が必要です。(調査日 H26.10.23 10:00～15:30)

注意箇所

バリアード

立入禁止

山登りの心得 (登山は自己責任のスポーツです)

●登山コース、分岐点、案内看板をしっかりと確認し、登山を楽しんでください。

●5月から6月は残雪の上を登るので万全の装備をしてください。

●夏山は午後から雷、雨、霧など天候が変化しやすいので十分注意してください。

●秋山は天候の急変に備え防寒装備を用意してください。

●雨具、長袖シャツ、携帯食、水などの登山道具を持参してください。

●長靴や登山靴を使用してください。

●岩や登山道は水にぬれるととても滑りやすくなるので十分注意してください。

●登山道からはみ出し、動植物の採取は禁止されています。

●携帯トイレは各自で準備してください。

●ゴミは持ち帰ること。

●自然環境の維持を図るためペットを連れての入山はご遠慮ください。

登山コース、分岐点、案内看板をしっかりと確認し、登山を楽しんでください。

5月から6月は残雪の上を登るので万全の装備をしてください。

夏山は午後から雷、雨、霧など天候が変化しやすいので十分注意してください。

秋山は天候の急変に備え防寒装備を用意してください。

雨具、長袖シャツ、携帯食、水などの登山道具を持参してください。

長靴や登山靴を使用してください。

岩や登山道は水にぬれるととても滑りやすくなるので十分注意してください。

登山道からはみ出し、動植物の採取は禁止されています。

携帯トイレは各自で準備してください。

ゴミは持ち帰ること。

自然環境の維持を図るためペットを連れての入山はご遠慮ください。

登山コース、分岐点、案内看板をしっかりと確認し、登山を楽しんでください。

5月から6月は残雪の上を登るので万全の装備をしてください。

夏山は午後から雷、雨、霧など天候が変化しやすいので十分注意してください。

秋山は天候の急変に備え防寒装備を用意してください。

雨具、長袖シャツ、携帯食、水などの登山道具を持参してください。

長靴や登山靴を使用してください。

岩や登山道は水にぬれるととても滑りやすくなるので十分注意してください。

登山道からはみ出し、動植物の採取は禁止されています。

携帯トイレは各自で準備してください。

ゴミは持ち帰ること。

自然環境の維持を図るためペットを連れての入山はご遠慮ください。

コース概要 (一例)

休憩時間は含まれておりません。

約1時間30分

約2時間30分

1 須川高原温泉

2 名残ヶ原

3 苔花台

4 産沼

5 山伏稜線

6 栗駒山頂

7 山伏稜線

8 産沼

9 苔花台

10 賽の河原

11 地獄釜

1126

1160

1180

1380

1560

1626

1560

1380

1180

1160

1126

ゴール

スタート

コースガイド

①～② 標高1126mにある須川温泉の源泉から直進すればおいらんコース、左折すればゼッタ沢コースを登る。どちらのコースからも約10分で合流後、名残ヶ原入口まで約100m。

② 湿地帯に整備された木道を進み名残ヶ原分岐へ。直進が山頂、右は賽の磧へ。

③ 名残ヶ原から少し登ると苔花台。左がゼッタ沢を渡り産沼コースへ。右側の須川コースは火山ガスにより立ち入り禁止となっている。立て看板やロープも張ってあるため絶対に入らないこと。

④ 産沼コースに入りゼッタ沢を渡る。融雪や降雨による増水時は渡らないよう気をつけること。産沼到着までの間は三途の川・四苦八苦坂がある。三途の川についても同様に増水時はもちろん、積雪時も渡らないよう注意。四苦八苦坂周辺は足場が悪く、急階段や急な坂が続くため足元に気をつけて登ること。瑞山(笹森)コース分岐点の手前に産沼があり、晴れている時には沼の浅瀬部分や水面に映る自然風景を観察できる。

⑤ 山伏稜線までたどり着くと山頂までもう少し。急勾配かつ急な階段となるため転倒しないよう注意。必要に応じてストックや手袋を使用するようにしよう。

⑥ 栗駒山(須川岳)山頂。奥羽山脈中央部の独立峰のため天候が良ければ360度の展望と、鳥海山、蔵王連峰、舟形連峰、月山、焼石連峰、早池峰山などを望むことができる。

⑦～⑪ 降りる際山頂から一気に急階段を下るので足元に注意。シャクナゲやハイマツ群生を抜けると瑞山(笹森)コース分岐へ。そのまま産沼→四苦八苦坂→三途の川→ゼッタ沢まで降りると苔花台・名残ヶ原の分岐点まで到着する。そのまま来た道を戻っても良し、おいらん風呂分岐点より賽の磧や地獄釜が見れる剣岳のコースに入るのもオススメ。

★体力と時間のある人は笹森避難小屋や展望岩頭にて足を延ばしてみるのも良い。

登山道入口

名残ヶ原分岐

苔花台

産沼

瑞山コース分岐

山伏稜線

栗駒山頂

賽の磧コースへ